

湘南なぎさ荘の「これから」についての説明会（サークル代表者向け）

日時：2024年4月23日（火）午後2時から午後3時10分まで

会場：湘南なぎさ荘 集会ホール

説明会参加者：35名

市事務局：高齢者支援課、湘南なぎさ荘指定管理者、

資料：湘南なぎさ荘の「これから」についての説明会（別紙）

【議事概要】

◇事務局

資料に基づき事務局から説明

○ご質問・ご意見1

具体的にいつ今の湘南なぎさ荘が使いなくなるのか。

◇事務局

鶴沼市民センターへの機能集約ができた場合、供用開始は令和13年の予定になる。

しかし湘南なぎさ荘以外の他の機能も複合化の候補にあるため、必ず複合化できるとは決定はしていない。

○ご質問・ご意見2

移転した後、今の建物はどうなるのか。

◇事務局

まだ検討中であるが、他の公共施設になる可能性は低いと思われる。しかし、災害時の避難場所となっているため、それがなくなる点については今後、防災安全部と調整になると思われる。

○ご質問・ご意見3

他のやすらぎ荘、こぶし荘も移転の話が出ているのか。

◇事務局

やすらぎ荘については築50年が経過しているため、公共施設再整備プランに掲載されているが、移転先は未定となっている。

○ご質問・ご意見4

鶴沼市民センターの建て替えは6年後ぐらいになると聞いているが、今の湘南なぎさ荘はいつぐらいまで利用できるのか。

◇事務局

鶴沼市民センターとの複合化が決まった場合は令和13年に供用開始予定となる。今の建物は、設備の状態を見ながら移転するまでは使用を続けていきたいと考えている。

○ご質問・ご意見 5

年齢制限を下げることはできないか。

◇事務局

年齢については老人福祉法に基づいている施設であるため、引き下げるのは難しい。

○ご質問・ご意見 6

湘南なぎさ荘の利用目的として、学習、趣味、運動の3つがあると思うが、これらの機能を平等に移転できるのか。また、鶴沼市民センターと合併してしまうと、人数を収容できないのではないかと。老人福祉センターは3つのまま維持した方がいいのではないかと。移転先では学習室を増やし、畳の部屋は板の間に変更して運動設備をそろえた方がいいと思う。

◇事務局

公共施設については複合化にすることが決まっている中で、ご希望どおりの設備を備えられるかはわからないが、現状の利用者のご意見として伝えていきたい。

○ご質問・ご意見 7

交通手段の確保が欲しいと思うが、できるのか。

◇事務局

現状の湘南すまいるバスは、鶴沼海岸駅周辺は道が狭く、入ることができない。近くに行くまでのルートの設定や、移動支援も含めて通いやすい施設を考えていきたい。

○ご質問・ご意見 8

公共施設を集約化することのメリットは何なのか。

◇事務局

トイレなどの設備が共用できる点、土地の確保などのコスト面、それから様々な方が同じ場所を使用することで、多世代交流が生まれるメリットがある。

○ご質問・ご意見 9

鶴沼市民センターが築何年ぐらいか。

◇事務局

正確な数字はわからないが約50年経過していると思う。

○ご質問・ご意見 10

今のサークルが鶴沼市民センターに移動したときに、規模を縮小しなければならないのか、それとも発展させていく考えなのか。

◇事務局

鶴沼市民センターにもサークルがあり、使用場所や時間が重なってしまい、部屋の利用ができなくなってしまうのが懸念している点である。その点については関係部署に積極的に伝えていきたい。しかし、公共施設の複合化、機能集約については変えられない点であり、ご希望はお聞きするが実現ができるかはわからない。

○ご質問・ご意見 11

駐車場は無料で自由に使える。音楽のサークルは楽器などを運ぶのに都合がいい。鶴沼市民センターへ機能集約された場合料金面で考慮はされるのか。

◇事務局

現在の料金形態は老人福祉法により、無料もしくは安価で利用できるようにとの記載があるため、それに基づき、お風呂以外の利用料が無料になっている。

一方で公民館の貸室は利用料を取っているため、高齢者の方が利用する分には、部屋の確保や利用料の考慮について訴えていきたいと思う。しかし、今まで通りに使えるという確証はない。実現ができなくてもほかの面でメリットができるようにしていきたいと考えているため、ご意見は引き続きアンケートなどでお伝えいただきたい。

○ご質問・ご意見 12

高齢者支援課分の面積は鶴沼市民センターと調整が取れているのか。鶴沼市民センターの部屋は毎日予約が満杯のように感じる。湘南なぎさ荘はサークル数も多く、サークル以外でもアクアなどを利用して健康維持に努めている方も多し。これだけの容量を受け入れられるように交渉してもらいたい。

◇事務局

現状の面積と比べても、このままの規模、面積で移転することは物理的に難しい。よって、機能については精査させていただき、公共施設の再整備プランに則っていることをご理解いただきたい。そのような条件の中でも、今のサークルが入りきれぬのか、料金、部屋の利用方法のすみ分けについては検討をしていく。複合化する機能の精査については、高齢者支援課だけでなく、他の部署も同じ条件である。

今後、複合化することが難しいということになれば選択肢として外れる可能性もある。今日の時点では、この場での建て替えが難しいということを利用者の皆様にお伝えするのが1番の目的である。この先今と同じぐらいの面積でコストのかからない土地が見つければ1番いいが、現実には難しい。

すべての希望を叶えることはできない、うまくいかない点もあるとご納得いただきたい。ただ、ここで出た意見はきちんと伝えていき、関係部署と調整をしていく。いただいたア

アンケートの結果も利用者の声として伝えていくため、まだの方はご提出をお願いしたい。

○ご質問・ご意見 13

鶴沼市民センターに集約されたときに、今の総面積より狭くなるということか。

◇事務局

面積的には狭くなる。湘南なぎさ荘の機能と、公民館の機能と重なっているところがある。予約がかぶってしまい、使いたいときに使えないということもあるため、部屋数を増やしてもらうことも可能性としてはある。利用人数が増えるため、人数に合わせて部屋の個数を増やしていくことも伝えていきたい。面積的には小さくなるが、重複する部分が出るため、面積が小さくなっていると捉えていただきたい。

○ご質問・ご意見 14

「老人大学」趣味、教養、サークル活動をする人が増えれば増えるほど健康寿命が増えていくと思う。老人福祉センターの利用カードが学生証というようなものになればいいと思う。

◇事務局

生涯学習の面も担当部署と相談しながら検討していきたい。

○ご意見

- ・老人福祉センターの利用者カードの「老人」という言葉が気になる。改定する機会があれば変更してほしい。
- ・土足のままでいいエリアと新しい設備になった場合は使い分けができればいいと思う。
- ・サークル活動に鶴沼公民館も普段利用しているが、部屋取りは抽選になり、競争率が高い。それに比べ湘南なぎさ荘は予約が取りやすく、利用しやすい。部屋取りの件も、使用料についても高齢者の利用について高齢者支援課としてきちんと他の部署と交渉してほしい。

◇事務局

高齢者支援の所管課として、利用者の皆様の声は伝えていく。

以 上